

被災者の市営住宅使用

住宅を失った人に
使用許可を



はらた 淳 議員

議員 平川市営住宅管理条例第5条に、災害により住宅を滅失した者は、公募を行わず市営住宅に入居することができる旨の記載があるが、これまでに災害による住宅の滅失を理由に、公募を行わず市営住宅に入居した例はあるか。

答 平成21年に1件の実績があります。市内で2件の火災が相次いだが、火災等で住宅を失った市民からの希望があった場合、市営住宅に入居することができるか。

議員 市営住宅は公共用の行政財産である。地方自治法によれば、行政財産は本来の用途又は目的を妨げない限り、目的外使用が認められている。平川市でも火災等に伴う市営住宅の一時使用許可の取扱い要綱等を作成するなどして、火災等で住宅を失った市民が市営住宅を使用できるようにしてほしい。



市営住宅への入居は原則として公募により決定します。

平川市の今とこれから

一般質問



今回は9名の議員が質問しました

平川市のいろいろな課題等について、議員が市に考えを聞くのが**一般質問**。全質問項目は下表のとおりです。

詳細は平川市議会
会議録へ



議会だよりでは、質問した議員ごとに1項目を抜粋・要約してお知らせします。

区分	質問事項	質問議員	ページ
市の姿勢・まちづくり	奨学金の返還徴収	原田 淳	
	市税等の口座振替の問題	葛西 勇人	
	成人式	工藤 貴弘	
	町会要望への対応	齋藤 剛	
	窓口業務の改革	長内 秀樹	P.5
	奨学金返還支援制度	中畑一二美	
産業・観光	議会改革	佐藤 保	
	平川ねぶたまつり中止のプロセス	葛西 勇人	
	市内飲食店の感染防止対策	葛西 勇人	
	猿賀公園の維持管理	工藤 竹雄	
	国道102号周辺整備	齋藤 剛	P.5
	果樹産業振興方針	長内 秀樹	
教育・福祉・医療	鳥獣被害対策	佐藤 保	
	被災者の市営住宅使用	原田 淳	P.2
	新型コロナワクチン予約方法	葛西 勇人	P.3
	サッカー場の新設	葛西 勇人	
	学習支援員・学校ICT支援員	工藤 竹雄	P.3
	ヤングケアラー支援	工藤 貴弘	P.4
	生活保護行政	齋藤 律子	P.4
	感染防止対策	齋藤 律子	
	尾上地域予約型乗り合いタクシー	齋藤 律子	
	子どもの国保税均等割減免	齋藤 律子	
	金田小学校の改築	長内 秀樹	
	新型コロナ対策	中畑一二美	
	子育て支援	中畑一二美	
肺炎球菌ワクチン予防接種	中畑一二美	P.6	
ヘルプマーク・ヘルプカード	中畑一二美		
介護保険制度	佐藤 保	P.6	

学習支援員・学校ICT支援員



どのように活用するのか

おたけ たくお
工藤竹雄 議員

議員 学習支援員は、個に応じたきめ細かな指導を充実させるため重要な役割を担うと考えるが、当市ではどのような人材を任用しているのか。また、その効果はどのようにしているのか。

答 学習支援員は教員免許取得者を計19名任用しています。主に授業中、つまずきがちな子どもに

声をかけてヒントを与え、子どもたちの気持ちの面や、学級担任の負担軽減という点で大きな助けになっています。

議員 学校のICT化が急激に加速する中、新たに任用する学校ICT支援員はどのような役割を担うのか。また、資格等必要な職種なのか。

答 学校ICT支援員に特別な資格は必要ありませんが、当市では民間団体が実施するICT支援員認定試験の合格者等を任用する予定です。主にICT機器を活用した学習時の授業計画の作成支援や環境整備など、学校現場で児童生徒や教員のサポートをしていただくことを想定しています。



支援員のサポートは子どもたちや教員の大きな助けになっています。

新型コロナワクチン予約方法



見直しを求めます

かいはい くと
葛西勇人 議員

議員 当市の新型コロナウィルスワクチン接種予約については、多くの市民から電話がつかないとの苦情が寄せられているところであるが、市の集団検診のように、市民の接種日程を市側で決定して通知し、接種をしない方や予定を変更したい方のみ電話連絡をする方法にはどうか。

答 市が市民の意向を確

認することなく接種の日程を決定すると、本来は任意であるワクチン接種を強制的なものとして受け取られる可能性があります。また、今後始まる12歳から64歳までの接種では学生や仕事をしている人が多く、日程変更の手続等に時間を要することが予想されるため、市側で接種日程を決定する方法を取る予定はありません。

議員 現在の予約方法では、予約が取れるかどうか不確定なため、会社員等は休暇の予定を立てることができない。今のやり方は見直すべき。

答 現在は一週間後の予約を受け付けている体制ですが、二週間、三週間先の予約ができないかどうかについて検討します。



平川市ワクチン予約コールセンター。電話での予約のほか、ウェブでの予約も増えてきています。

一般質問の全文は平川市ホームページで読むことができます。
インターネットで「平川市議会 会議録」と検索するか下記のQRコードをご利用ください。

平川市議会
会議録



ヤングケアラー支援

スクールソーシャル
ワーカーの増員を

くどうたかひろ
工藤貴弘 議員



議員 ヤングケアラー^{※1}

については、国が喫緊の支援が必要と判断し、その早期救済に取り組み始めたところだが、未だに認知度は低い状況である。当市では、ヤングケアラーの認知度向上のためにどのような取り組みをしていくのか。

答 広報誌や学校だより等で市民や家庭への周知を図るほか、市職員・教

議員 ヤングケアラーの

職員や関係機関に向けた研修などで取り上げていきたいと考えています。

議員 ヤングケアラーの

実態を把握し適切な支援を行うっていくためには、SSW^{※2}が重要な役割を担うと考えるが、増員

する考えはあるか。

答 SSWは、県教育委員会から学校の規模等に依じて市内小中学校に定期派遣されており、定期

派遣されていない学校に

ついては、必要に応じて緊急派遣できる体制が取られていることから、現時点での増員は考えておりません。

議員 ヤングケアラーの支援に当たっては、問題が表面化しにくいという背景もあるため、短時間でも各校にSSWを配置するよう県に要望してほしい。

派遣されている学校に

生活保護行政

生活保護は国民の権利
です

さいとうりつこ
齋藤律子 議員



議員 移動手段のない生活保護受給者の新型コロナウイルスワクチン接種会場への交通費の支給は、

答 国からの通知により、必要な方に移送費として支給します。

議員 生活保護申請後の

扶養義務者に対し、援助できないか確認するための扶養照会の判断基準が今年改正となったが、主な変更内容は、

答 福祉事務所では、明らかに扶養が期待できないと判断される扶養義務者には基本的に扶養照会しておりませんが、今回その例として、扶養義務者に縁を切られている等の著しい関係不良にある場合が新たに追加されたほか、音信不通期間が短縮される等、今の時代や実態に沿うよう見直しされました。

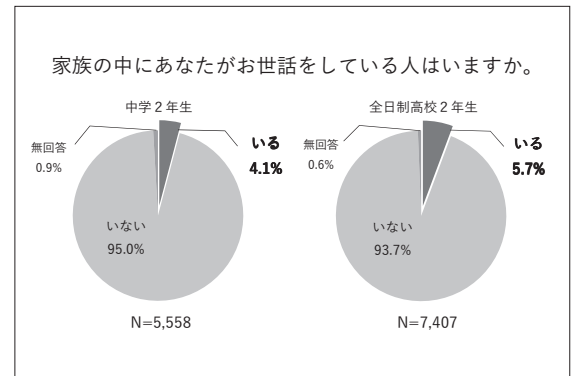
議員 生活保護の申請をためらったり、あきらめたりすることがないよう、窓口を設置している生活保護のしおりを改善するべきではないか。

答 今回議員の御指摘を受け、憲法第25条（生存権）にある文言をしおりに入れました。今後、他福祉事務所のしおりを参考に、改善してまいります。

生活保護のしおり



生活保護の窓口では「生活保護のしおり」を配布して説明を行っています。



国の調査では、中学2年生の約17人に1人、全日制高校2年生の24人に1人が「世話をしている家族がいる」と回答しています。

※1 ヤングケアラー
家事やきょうだいの世話、家族の介護など、大人が担うようなケアを引き受けている18歳未満の子どものこと。

※2 SSW
スクールソーシャルワーカー。児童・生徒の学校や日常生活における悩みを、関係機関への働きかけなどの福祉的な観点から解決する専門職。令和3年度は、平川市の小中学校全13校のうち5校に定期派遣されている。

窓口業務の改革



市民本位の窓口を

おさないひで き
長内秀樹 議員

議員 新本庁舎開庁時に実施する「書かない窓口」とはどのようなものか。
答 市民の方が来庁された場合、窓口担当職員が聞き取りやマイナンバーカード等のスキャンを行うことで個人情報を取り込み、申請書の作成を支援するものです。市民の方には申請内容を確認した上で、署名のみしていただきます。なお、出生

や死亡、婚姻など戸籍に関する届け出については、証明欄等があるため、今までどおり記入していたことにあります。
議員 市役所の窓口業務について、どのような将来像を描いているか。
答 効率的な行政サービスを提供するため、業務の自動化や、AIを活用した業務支援など、ミスのない安定した事務の遂

行を目指します。一方で、相談や審査など職員が直接対応しなければならぬ業務については、限られた職員数であっても、市民と向き合える体制をつくりまします。
議員 今後人口が減っていく中において、窓口業務の改革による作業効率の向上、そして人件費の削減を推し進めるべきと考える。



市民に負担をかけない窓口を目指します。

国道102号周辺整備



トンネルの早期建設を

さいとう たけし
齋藤剛 議員

議員 国道102号周辺は木の枝が伸び展望が悪く、倒木の可能性がある木もある。近隣市や県にもはたらきかけ、整備すべきではないか。
答 道路管理者である県がパトロールを実施し異常把握に努めています。市へ通報があった場合も、県と連絡を取り迅速に対応しております。

議員 西十和田トンネル（仮称）^{※3}の建設に対する市の要望活動は。
答 近隣5市町村で構成する津軽南市町村連絡協議会において、県に要望活動を行っています。市としても、十和田湖と津軽一円への観光ルートの充実や、南部地域への大動脈の形成等が期待できることから、早期建設を強く要望しているところです。

議員 今後の建設の見通しは。
答 平成7年度から環境調査等の基礎調査が進められておりますが、国立公園に位置している等により課題が多く、現時点で工事に着手するという回答は得られておりません。
議員 豪雪地帯をクリアするためにも、トンネルの早期建設を望む。



令和2年12月に秋田県庁で行われたトンネルの早期着工を求める要望活動の様子。

ことば

※3 西十和田トンネル（仮称）
温川地区から秋田県小坂町滝ノ沢地区までの区間が冬季間豪雪により国道を閉鎖されていることから、長年建設を要望しているトンネル。

本会議は中継のほか録画配信をしています。
スマートフォン等で下記のQRコードを読み込むと視聴できます。

平川市議会
ユーチューブ
チャンネル



肺炎球菌ワクチン 予防接種



より踏み込んだ支援を
求めます

なかはたひふみ
中畑一二美 議員

議員 肺炎は65歳以上の方の死亡原因の男性3位、女性4位となっており、高齢者にとっては深刻な病である。肺炎を引き起こす原因のひとつとなる肺炎球菌は、ワクチンの接種により予防できるため、接種率を上げることが重要と考えるが、現在の市の取り組み状況は、

答 市の取り組みとして、

65歳から100歳まで5歳刻みの年齢になる方を対象に、初めての接種に限り5千円を上限に助成しており、接種率は過去3年平均で約30%です。

議員 初めての接種だけでなく、2回目以降の接種費用も助成する考えは、

答 肺炎球菌ワクチンの効果の持続期間や再接種の有効性については、現

在も国で検討中であることも踏まえ、市としては定期接種としての1回目の接種を勧奨します。

議員 高齢者の肺炎を予防することは寿命を延ばすこと、ひいては人口減少を遅らせることにもつながる。高齢者が健康で長生きするためにも、さらなる市の支援を望む。



市から対象者へ送付している案内文書。お知らせや予診票などが同封されています。

介護保険制度



さらなる市の努力を求めます

さとう たもつ
佐藤 保 議員

議員 本市の介護保険料の基準月額^{※1}は、第7期の6500円に対し、第8期は6800円に値上げされたが、その理由は、

答 国の運営するシステムで高齢者数、介護認定者数、サービスごとの受給率などから推計したところ、令和3年度以降も給付費の増加傾向が続く見込みとなりました。特

に、市内外の介護療養型医療施設の介護医療院への転換、ショートステイの利用者の増加が大きな要因です。また、第9期も同様に給付費は増加を続ける推計となっており、急激な負担増とならないよう基金を活用し、第8期の介護保険料を月額3000円の増としました。

議員 市の介護保険特別

会計を見ると、予算のほとんどが施設介護へ充てられている。在宅介護への支援を充実する考えは、

答 市ではこれまで実施してきた介護予防教室などに加え、新たに運動等を中心とする通所型サービス、認知症賠償責任補償事業などを始めました。今後も、住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるような事業の新設と充実を目指します。



転倒予防を目的とした足腰の筋力アップのための体操教室の様子。日程や場所などは広報ひらかわに掲載されています。

ことば

※1 基準月額

65歳以上の方が納める介護保険料月額の区分の1つ。基準月額は3年ごとに改定され、令和3年度から令和5年度までが第8期となる。